

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和7年度技術情報第32号(ピーマンのアブラムシ類)について (送付)

ピーマンのアブラムシ類について、下記のとおり取りまとめましたので、周知およびご指導をよろしくお願いいたします。



なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ (<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujosh/index.html>) にも掲載しています。

令和7年度 技術情報第32号

3月中旬におけるピーマンのアブラムシ類の発生ほ場率は高く、過去10年間で最も多くなっています。ほ場の見回りを行い、発生を認めたら、早期防除を行ってください。

1 対象病害虫 アブラムシ類

2 対象作物 ピーマン

3 発生状況および情報の根拠

- 3月中旬の調査では、発生ほ場率は33% (平年10%) と過去10年間で最も高い (図1、図2)。現在のところ発生程度は低いが (表1)、密度が増加する前の防除が重要である。
- 今後も気温が高くなると予想され、発生に好適な条件が続くことから、発生の増加が懸念される。

4 防除対策及び防除上注意すべき事項

- ほ場をよく見回り、発生を認めたら早期防除を行う。
- 新芽や葉裏などアブラムシ類が生息する場所に薬液が付着するよう、散布は丁寧に行う。
- 天敵を放飼しているほ場では、天敵への影響を考慮した農薬を選定し、防除を行う。
- 作用性の異なる農薬 (RACコード参照) のローテーション散布に努める。
- 農薬によっては防除効果が低下しているため、散布後は防除効果を確認する。
(詳細は令和7年度技術情報第33号、令和8年3月26日付参照)

5 参考データ

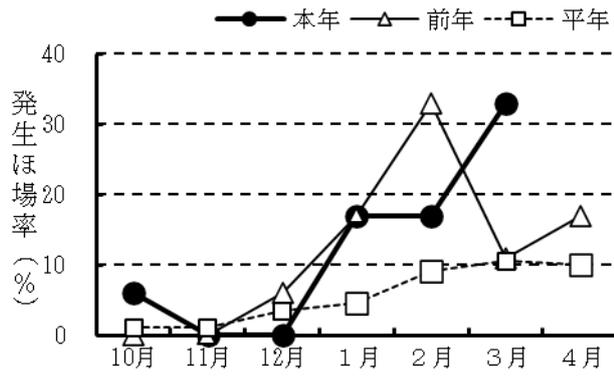


図1 アブラムシ類の発生ほ場率の推移

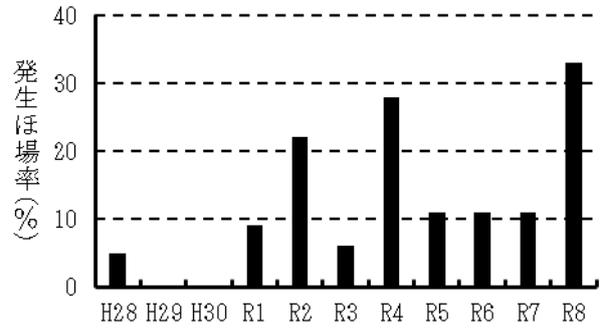


図2 アブラムシ類の発生ほ場率の年次推移

表1 アブラムシ類の発生状況調査¹⁾

調査地点	調査ほ場数	発生程度別 ²⁾ ほ場数				
		甚	多	中	少	無
南さつま市	4	0	0	0	1	3
志布志市	7	0	0	0	3	4
東串良町	7	0	0	0	2	5
計	18	0	0	0	6	12

注1) 調査日:令和8年3月2~17日

注2) 発生程度(寄生株率) 甚:30%以上、多:16~30%、中:6~15%、少:1~5%